

# KAYABA RALLY TEAM MR 145 M

2024年 JAF全日本ラリー選手権 第5戦 加勢裕二杯 モントレー2024

2024/6/7(金)~6/9(日) 群馬県安中市/藤岡市/高崎市/富岡市/神流町/上野村/南牧村





クラス9位(全12台)/総合13位(全70台)



#### ■ 大会概要

日程: 2024/6/7(金)~6/9(日)

場所: 群馬県安中市他

主催: トヨタ・モータースポーツ・クラブ

上州オートクラブ NPO法人 MOSCO

SS数: 10

路面: ターマック 総走行距離: 641.46 km SS距離: 106.72 km



#### ■ スペシャルステージ設定

[DAY1]  $6/8(\pm)$ 

天候: 晴れ / 路面: ドライ

スタート 8:30 SS1 Shionosawa Touge I 8.80 km 9:48 SS2 Yokura Touge I 14.90 km 10:36 SS3 Old Usui Touge I 9.10 km 12:49 <フレキシサービスA (20分)> 13:34 SS4 Old Usui Touge II 9.10 km 15:47 SS5 Shionosawa Touge II 8.80 km 17:20

14.90 km 18:08

<フレキシサービスB (45分)> パルクフェルメ

SS6 Yokura Touge II

【DAY2】 6/9(日)

天候: 曇り / 路面: ドライ

 	<サービスC (15分)>		6:00
SS7	Sakamaru I	8.02 km	7:58
SS8	Grandma.Kimura I	12.54 km	8:46
	<フレキシサービスD	(45分)>	10:31
	Sakamaru II	8.02 km	13:19
SS10	Grandma.Kimura II	12.54 km	14:07
i i	フィニッシュ		16:12

#### 全体図



#### ■ チーム体制

20:33



: KAYABA Rally Team チーム

: 桝本 一憲 監督 チームアドバイザー : 奴田原 文雄 ドライバー :石黒一暢 : 穴井 謙志郎 コ・ドライバー

チーフエンジニア :松下 雄介 :山田 淳一(RUTS RACING) チーフメカニック

エンジニア :柴田 究悟

:長江 将典、増谷 大志 メカニック

松田 幸也、三國 大河

: 伊藤 由佳 マネージャー

### ■ リザルト (JN-1クラス 9位/12台 総合 13位/70台)

			Co-Dr.	参加車両名	車両型式	+==0	DAY1								クラス	DAY2						クラス	40 A TI	クラス	総合	
クラス	No.	Dr.				車両区分	SS1	SS2	SS3	SS4	SS5	SS6	Penalty	合計	順位	SS7	SS8	SS9	SS10	Penalty	合計	順位	総合計	順位	順位	
JN	-1	2	新井 大輝	松尾 俊亮	Ahead Skoda Fabia R5	ABCUFX11	Rally2	7:12.5	11:28.1	6:52.8	6:45.3	7:03.7	11:20.2		50:42.6	1	6:07.5	8:29.4	6:03.4	8:22.8		29:03.1	1	1:19:45.7	1	1
JN	-1	1	勝田 範彦	木村 裕介	GR YARIS Rally2	MXPA12	Rally2	7:12.1	11:28.6	6:57.1	6:51.9	7:10.9	11:21.2		51:01.8	2	6:11.7	8:30.1	6:05.9	8:26.2		29:13.9	2	1:20:15.7	2	2
JN	-1	7	田口 勝彦	北川 紗衣	AICELLO速心DLヤリスRally2	MXPA12	Rally2	7:20.5	11:31.5	6:55.2	6:54.3	7:16.4	11:27.4		51:25.3	3	6:19.7	8:42.5	6:11.8	8:38.0		29:52.0	4	1:21:17.3	3	3
JN	-1	5	奴田原 文雄	東 駿吾	ADVAN KTMS GRヤリスラリー2	MXPA12	Rally2	7:23.7	11:40.7	6:54.1	6:51.6	7:28.5	11:40.2		51:58.8	4	6:16.5	8:35.9	6:20.8	8:33.5		29:46.7	3	1:21:45.5	4	4
JN	-1	6	新井 敏弘	井上 草汰	SUBARU WRX S4	VBHB4Y8-KAC	JP4	7:22.3	11:43.3	6:59.6	7:00.2	7:21.5	11:40.7		52:07.6	5	6:20.2	8:42.7	6:15.5	8:39.6		29:58.0	6	1:22:05.6	5	5
JN	-1	9	鎌田 卓麻	松本 優一	WinmaX DL シムス WRXSTI	VAB	JP4	7:24.3	11:45.6	7:01.3	6:57.9	7:31.8	11:53.8		52:34.7	6	6:24.5	8:47.7	6:22.4	8:45.9		30:20.5	7	1:22:55.2	6	6
JN	-1	8	眞貝 知志	安藤 裕一	GR YARIS GR4RallyDAT	GXPA16	JP4	7:38.9	12:11.6	7:11.5	7:06.9	7:34.4	12:00.1		53:43.4	7	6:32.6	8:58.2	6:30.2	8:57.1		30:58.1	9	1:24:41.5	7	7
JN	-1	10	柳澤 宏至	竹下 紀子	MATEX-AQTEC DL GRヤリス	GXPA16	JP4	7:46.1	12:11.1	7:18.2	7:10.1	7:38.6	12:06.1		54:10.2	9	6:32.0	8:57.3	6:31.8	8:55.1		30:56.2	8	1:25:06.4	8	8
JN-2	MORIZO	17	大竹 直生	竹藪 英樹	GR YARIS GR4 Rally	GXPA16	RJ	7:55.4	12:14.1	7:18.0	7:11.5	7:54.0	12:11.6		54:44.6	4	6:32.7	8:59.0	6:24.5	8:51.9		30:48.1	1	1:25:32.7	1	9
JN	-2	14	三枝 聖弥	船木 一祥	名古屋スバル ラック DL WRX	VAB	RRN	7:44.5	12:19.0	7:09.1	7:07.4	7:50.6	12:32.6		54:43.2	2	6:31.6	9:03.0	6:26.8	8:48.8		30:50.2	2	1:25:33.4	2	10
JN	-2	18	小泉 敏志	村山 朋香	若甦DLドリームドライブGRヤリス	GXPA16	RJ	7:43.5	12:12.4	7:09.0	7:05.1	7:51.2	12:38.4		54:39.6	1	6:36.6	8:54.2	6:35.0	8:59.1		31:04.9	3	1:25:44.5	3	11
JN-2	MORIZO	13	山田 啓介	藤井 俊樹	FITEASYソミック石川GRYARIS	GXPA16	RJ	7:46.6	12:23.2	7:12.0	7:08.8	7:45.7	12:27.9		54:44.2	3	6:30.8	9:00.5	6:33.8	9:11.0		31:16.1	4	1:26:00.3	4	12
JN	-1	7	石黒 一暢	穴井 謙志郎	カヤバ GRヤリス	GXPA16	JP4	7:41.7	12:18.4	7:16.0	7:14.3	7:57.5	12:34.9		55:02.8	10	6:36.6	9:02.5	6:30.5	9:03.4		31:13.0	10	1:26:15.8	9	13
JN	-3	26	山本 悠太	立久井 和子	SammyK-oneルブロスYHGR86	ZN8	RJ	7:50.2	12:16.7	7:16.0	7:14.3	7:53.9	12:29.7		55:00.8	1	6:38.3	9:12.8	6:33.8	9:05.1		31:30.0	1	1:26:30.8	1	14
JN	-3	26	長﨑 雅志	大矢 啓太	NTP NAVUL GR86	ZN8	RJ	7:51.5	12:10.1	7:14.9	7:13.0	7:58.6	12:35.6		55:03.7	2	6:42.5	9:07.3	6:36.6	9:04.5		31:30.9	2	1:26:34.6	2	15



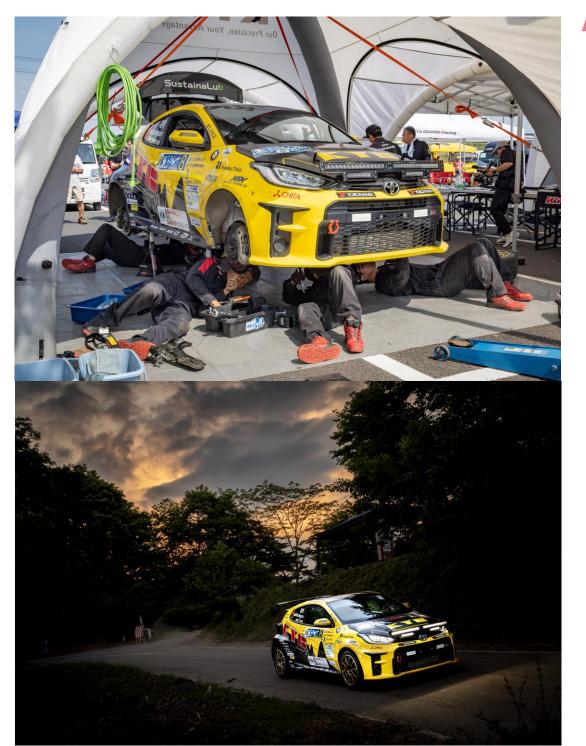
#### ダイジェスト

 $6/7(金)\sim9(日)$ に群馬県安中市を中心に、全日本ラリー選手権第5戦『モントレー2024』が開催され、全70台が集まった。カヤバが参戦するJN-1クラスは全12台で争う。目玉となった国道18号 碓氷峠旧道でのラリーはライブ配信もされ注目を集めた。国道を封鎖し実施されるラリーは国内初となる。

DAY1はアニメの舞台としても有名な碓氷峠旧道を含む3つのステージをそれぞれ2度走行する。SS1はクラス8位/総合8位とまずまずの滑り出しを見せるも、SS2の後半に右コーナー内側の側溝に右前後輪を脱輪するミスが発生。なんとか側溝から復帰するも、足回りにダメージを負ってしまう。タイヤ交換と応急処置を実施して臨んだSS3は注目の碓氷峠旧道を走る。車両にダメージを抱えつつも、多くの観戦者が集まったギャラリーコーナーを駆け抜け、大きな歓声を頂いた。続くサービスでは、メカニック達の渾身の整備作業により、20分という短い規定時間内で車両を修復。SS4~6はタイヤを労わる走行を行い、初日をクラス10位/総合16位で終える。

DAY2は低速テクニカルなSS7/9と、高速で車体が跳ねやすく高難易度なSS8/10をそれぞれ2度走行する。大きく異なるステージのキャラクターにクルーは翻弄されながらも確実に走り切り、クラス9位/総合13位でラリーを終えた。

第6戦は7/5~7に北海道蘭越町にて開催される。







#### DAY1

SS1からリズムを掴みクラス8位/総合8位のタイムを記録。 本ラリー最長となる14.90kmのSS2では、序盤中盤に手応え のある走りをするも、終盤のサイドブレーキを使用するきつ い右コーナーにて、サイドターンの立ち上がりで走行ライン を見誤り、右前後輪を側溝に落としタイムロスを喫する。側 溝からなんとか抜け出して復帰するも、足回りにダメージを 負いアライメントが崩れてしまった。ステージ終了後にタイヤ交換と応急処置のアライメント調整をクルーにて実施し、 続くSS3の碓氷峠旧道へ挑んだ。応急処置後も左コーナーが 曲がりにくい不具合を抱えるも、ギャラリーの待つ右コーナーでは渾身の走行を披露、カヤバの存在感をアピールした。

SS3後のサービスでは、20分という短い時間の中でダメージを受けたロアアームを交換、アライメントを調整し、SS6に備えて補助灯を装着。ヌタハララリーチームのメカニックの助けもあり、見事に規定時間内で車両を送り出した。想定以上にタイヤの負担が大きかったが、翌日の天候とタイヤ本数制限を考慮し、新品は使用せずに午後のセクションに挑んだ。

碓氷峠旧道の2回目を走るSS4では、車両の修復状態を確認しつつタイヤライフを考えながら走行。DAY1最終のSS6では、日が沈みつつある中での走行となり、今シーズン初の補助灯を使用したステージとなった。SS2のトラブルが尾を引き、クラス10位/総合16位でDAY1を終えた。



#### DAY2

DAY2は曲がりくねった狭いSS7/9と、下り勾配で高速かつ路面のうねりが連続する高難易度なSS8/10で争われた。

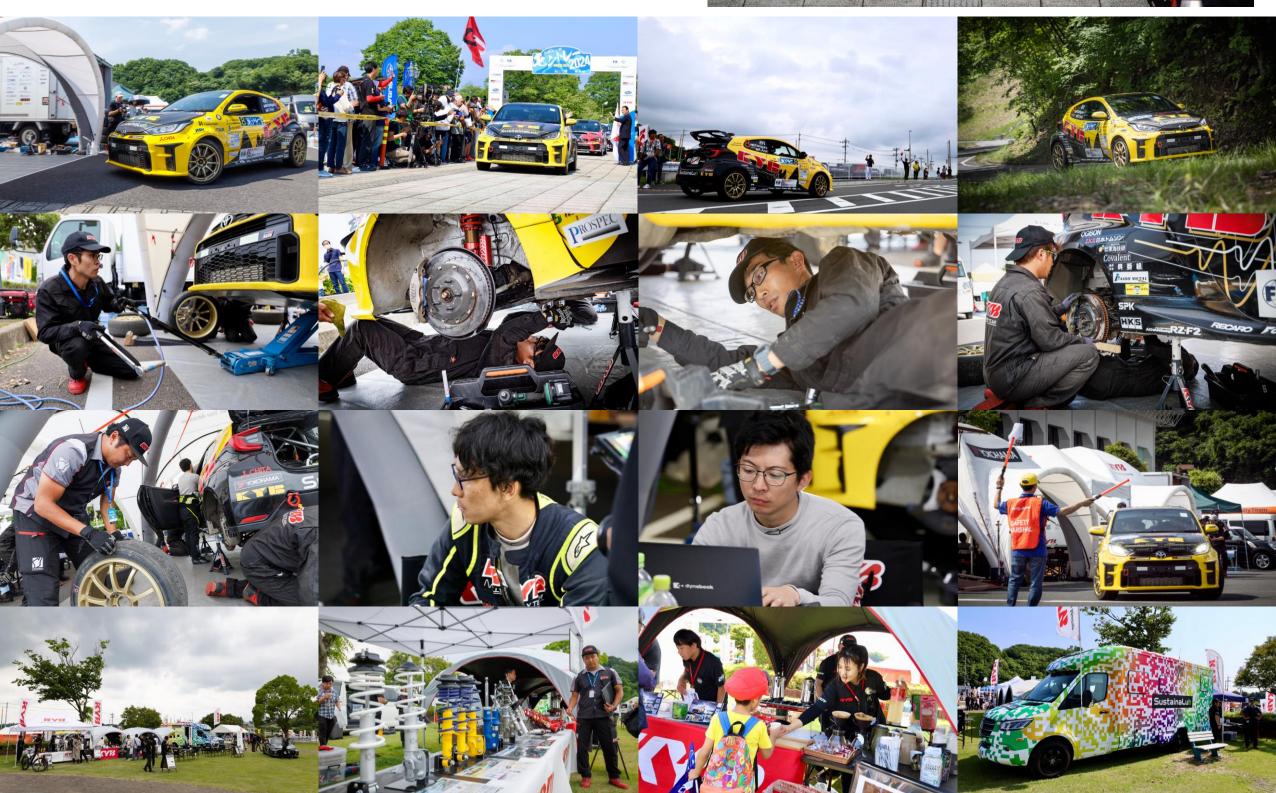
SS7は未舗装路区間や苔が点在し、車両へのダメージがないよう細心の注意を払い走行。SS8は高速セクションが連続するためにリーディングのリズム感が掴み切れず、読み上げるタイミングに遅れが生じるも果敢に走り切った。

大きな車両不具合無く迎えた20分のサービスでは、ブレーキのエア抜きや増し締めなどの定常作業を実施。午後の最終セクションに向け準備を整えた。

SS9はSS7と比較して砂利がコース脇から出てくる箇所が目立つも、走り方に修正を加えたことで若干のタイムアップに成功しクラス9位/総合11位のタイムを記録。SS10はSS8で遅れていたノートリーディングを修正、タイミングは改善できたものの、ドライビング面でのミスなどから若干のタイムダウンを喫し、クラス10位/総合15位のタイムで走り切った。最終成績はクラス9位/総合13位。リエゾン含め総走行距離641kmという長丁場のラリーを走破した。

次戦のラリーカムイは未舗装路(グラベル)ラリーとして、 7/5~7に北海道虻田郡ニセコ町周辺で開催される。







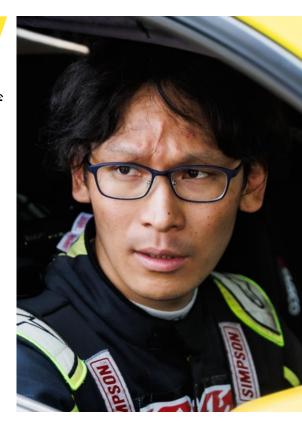
#### **DRIVER**

#### 石黒 一暢

シーズンも後半戦に突入し、舗装路でのラリーは本戦で一区切りとなるため、これまでの反省を活かして入念なビデオチェックを実施して挑みました。SS1ではクラス8位とまずまずの出だしが出来たかと思いましたが、SS2後半の鋭角右ターンの立ち上がり加速で右側に寄せすぎてしまい側溝にはまってしまいました。何とか抜け出せたものの足回りにダメージを負ってしまい、応援していただいている皆様には大変申し訳なく思います。20分という短いサービス時間の中で、規定時間を超えることなく修復し、送り出してくれたカヤバラリーチームとヌタハララリーチームのメカニックには感謝しかありません。

チームに応えるべく懸命に走りましたが、思うようなタイムが出せずクラス9位/総合13位で終えることとなりました。一方で、ギャラリーステージではカヤバ号の走行で皆様に盛り上がっていただけたと耳にしました。楽しんでいただけて何よりでした。

次戦ラリーカムイは未舗装路(グラベル)となりますので、反省と対策を考え改めて挑戦したいと思います。引き続きカヤバラリーチームの応援をよろしくお願いいたします。





#### Co-DRIVER 穴井 謙志郎

前戦の丹後でのミスを繰り返さないよう強い思いを持って臨みました。結果的にコドラ由来のペナルティを貰わずに終えることができ一安心しています。モントレーの道はコーナーの形状が複合的かつ路面も荒れており、ペースノートの情報量が多くリーディングがとても難しい道でした。特にSS8/10は車速が約150km/hに達する区間もあり、1回のリーディングミスで即リタイアといった状況でもあったために、これまでのラリーの中でも一番精神を削ったラリーとなりました。高速になればなるほどリーディングのタイミングを取ることが難しくなります。全力を出したつもりでしたが、それでも不慣れな高速区間ではベストタイミングが取れず、まだまだ鍛錬が足りないなと痛感しました。

モントレーではたくさんの方からカヤバを応援する声を頂けました。本当にありがとうございます。引き続き皆様に応援していただけるようなチームを目指して、一生懸命に取り組んでまいります。次戦から2戦続けて北海道でのグラベルラリーが続きます。グラベルラリーは個人的に経験が乏しいため、より一層高い集中力を持って臨みます。

#### Special Thanks













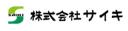


















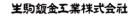




















**#..** LAILE





















※写真は他にもございます。必要でしたらお申し付けください。





@kyb\_official カヤバ株式会社 公式YouTube



@kybcorporation カヤバ株式会社 公式Instagram



@KAYABA\_KYB カヤバ株式会社 公式X(旧Twitter)

